

注文票

FAX 048-432-7335		
氏名:	住所:	電話:
〒		
四六判 193頁		
定価: 本体 1900円+税		
2004年 10月 12日 発売		
<p><b>注文数</b></p> <p><b>部</b></p> <p>日本僑報社刊行日中関係の本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『中国人特派員が書いた日本』</li> <li>『永遠の隣人--人民日報に見る日本人』</li> <li>『日中相互理解とメディアの役割』</li> <li>『日中ホンネで大討論!』</li> <li>『中国人の見た日本』</li> <li>『中国人の日本語書総覧』</li> <li>『日本華僑人社会の変遷』</li> <li>『華僑社会の変貌とその将来』</li> <li>『中国人の日本奮闘記』</li> <li>『中国の1万2967人に聞きました。』</li> <li>『私が出会った日本兵』</li> <li>『つくる会の歴史教科書を斬る』</li> <li>『新中国に貢献した日本人たち』</li> <li>『中国のインターネットにおける対日言論分析』ほか多数</li> </ul>		

# ゴッドギャンブラー

## マカオカジノ王 スタンレー・ホー

楊中美著 青木まさこ訳 日本僑報社 | ISBN 4-931490-91-3

【内容紹介】

著者の楊中美氏は今まで多くの人物伝を書かれてきた。歴史学者である楊氏は、丹念に史料を収集・分析されるので、著書の信憑性には定評がある。楊氏が書かれてきた人物のほとんどは中国の大物政治家である。たとえば、胡耀邦、朱鎔基、董建華、江沢民、李登輝、胡锦涛、などである。その楊氏がマカオのカジノ王であるスタンレー・ホー伝を書かれた。「どうして、カジノ王を？」と一瞬目を疑ったが、なるほど著書を読むと、スタンレー・ホーがマカオで最も影響力のある人物であることがよくわかる。



原著は1999年、マカオが中国に返還される直前に台湾で出版され、大きな反響を呼んだ。日本でもマカオ特別区政府が入札を通して3つのカジノライセンスを発行することを公布してから、誰がスタンレー・ホーの他にカジノライセンスを獲得するのか、大変注目され、インタネット上でも騒がれた。結局、第1号ライセンスはスタンレー・ホーに、第2号はラスベガスのステイブ・ウインに、第3号は同じくラスベガスのシエルダン・アデルソンに与えることが決まったが、今までライセンスを独占していたスタンレー・ホーが今後どうなるのか、多くの人々が注目している。

これほど注目を集めているスタンレー・ホーだが、日本では彼に関する本は未だ出版されていない。この著書が日本初のスタンレー・ホー伝なのである。

——本書「訳者あとがき」より

**著者紹介** 楊中美 1945年江蘇省生まれ。上海華東師範大学卒業。1981年来日し、立教大学で博士課程修了。米ハーバード大学の特別研究員を経て、1989年—1993年まで雑誌『民主中国』の編集長。1994年より現代中国研究センター代表。横浜市立大学、法政大学講師。著書『胡锦涛評伝』『江沢民伝』（答答社）、『朱鎔基 死も厭わない指導者』『1つの中国 1つの台湾 江沢民VS李登輝』（講談社）、『胡锦涛 21世紀中国の支配者』（NHK出版）などがある。

**訳者紹介** 青木まさこ 1964年神奈川県生まれ。慶應義塾大学、法政大学兼任講師。訳書『北京人と上海人 攻防と葛藤の20世紀』『胡锦涛 21世紀中国の支配者』（NHK出版）、共訳書『香港回収工作 上下』『中国妖怪記者の自伝』（筑摩書房）、『1つの中国 1つの台湾 江沢民VS李登輝』（講談社）、などがある。